

教科	生活支援技術		学科・学年	社会福祉科 ・ 2 年	単位数	2 単位
目標	1. 家庭生活における知識と家事支援に関する支援の方法を習得させ、在宅での利用者に対しても実践的な能力や態度で接することが出来るように育てる。 2. 終末期の介護の基本や具体的な進め方に学ぶ 3. 障害者への生活支援の基本的条件を学ぶ。 4. 認知症の人の介護について学ぶ。					
評価方法	・ 出席状況 ・ 授業態度 ・ 提出物 ・ 定期テスト などの状況を総合して評価する。					
評価観点	【関心・意欲・態度】 要介護者の生活支援に関心を持ち、意欲的に学習する態度を身につけている。 【思考・判断】 様々な生活支援の場面において、要介護者に応じた支援方法を適切に判断できる。 【技能・表現】 日常生活における生活支援について、実際に応用することができる。 【知識・理解】 日常生活の支援技術に関する基礎的な知識を身につけ、要介護者に応じた支援方法について対応することができる。					
使用教科書	生活支援技術 I・II (メジカルフレンド社)					
使用副教材	なし					
月	学習内容		学習のねらい		学習活動	
4	オリエンテーション 1 自立に向けた家事の介護 (1)家事の意義と目的		☐ 学習内容と目標を理解している。 ☐ 家事の意義と目的を理解している。		・ 講義 ・ 授業プリントの記入	
5	(2)家事に関する基礎知識 (3)家事の介護の基本		☐ 家事に関する基本知識を理解している。 ☐ 家事の介護の基本について理解している。		・ 講義 ・ 授業プリントの記入 ・ 中間テスト [点] ・ 自己評価 A ☐ B ☐ C ☐	
6	(4)家事に関するアセスメントと目標設定 (5)家事に参加することを支える介護		☐ 家事に関するアセスメントと目標設定について理解している。 ☐ 家事に参加することを支える介護について理解している。		・ 講義 ・ 授業プリントの記入	
7	(6)家事の介助の方法 (7)他の職種の役割と協働		☐ 家事の介助の方法について理解している。 ☐ 他の職種の役割と協働について理解している。		・ 講義 ・ 授業プリントの記入 ・ 期末テスト [点] ・ 自己評価 A ☐ B ☐ C ☐	
反省						

9	2 終末期の介護 (1)終末期の介護の基本 (2)終末期における利用者のアセスメントの視点と目標設定 (3)終末期における介護の具体的な展開	☐ 終末期の介護の基本について理解させる。 ☐ 終末期介護のアセスメントの進め方を身体的側面、社会的側面、心理的側面から理解させる。 ☐ 終末期介護の具体的な進め方について理解させる。	・講義 ・授業プリントの記入
10	(4)終末期の介護を支えるための制度 (5)臨終場面の介護 (6)グリーフケア	☐ 終末期の介護を支えるための制度について理解させる。 ☐ 臨終場面の介護について理解させる。 ☐ グリーフケアについて理解させる。	・講義 ・授業プリントの記入 ・中間テスト [点] ・自己評価 A☐ B☐ C☐
11	3 障害児・者の生活支援の基本 (1)障害児・者の生活支援の目的と意義 (2)生活支援に必要とされる障害の観察・評価・理解の視点	☐ 障害児・者の生活支援の目的と意義を理解している。 ☐ 生活支援に必要とされる障害の観察・評価・理解の視点を習得している。	・講義 ・授業プリントの記入
12	(3)障害児・者の生活支援の実践のあり方と介護福祉士の業務範囲	☐ 障害児・者の生活支援における介護福祉士の業務と他職種との連携の意味を理解している。	・講義 ・授業プリントの記入 ・期末テスト [点] ・自己評価 A☐ B☐ C☐
反省			
1	4 認知症の人の生活支援技術 (1)認知症の人の理解	☐ 認知症の症状と認知症が生活に与える影響について理解している。	・講義 ・授業プリントの記入
2	(2)認知症の人の介護の原則 (3)認知症の人のコミュニケーション	☐ 認知症の人の介護の原則について理解している。 ☐ 認知症の人とのコミュニケーションのあり方について理解している。	・講義 ・授業プリントの記入
3	(4)認知症の人のアセスメントと目標設定 (5)認知症の人の生活支援技術	☐ 認知症の人のアセスメントの視点と方法について理解している。 ☐ 認知症の人の生活支援技術について理解している。	・講義 ・授業プリントの記入 ・学年末テスト [点] ・自己評価 A☐ B☐ C☐
反省			